



ダイヤ改正提案

和倉温泉駅は無人駅に

北陸新幹線車掌1名体制に！

基本乗組数の見直しについては、社内での傷害事件や車内トラブルなど多く発生している中、鉄道事業における安全確保や正確な輸送の提供が求められているにも関わらず、乗組数の減では、「安全」を担保することはできません。

和倉温泉駅の無人化については、これまで会社が和倉温泉の玄関駅として、資本も投資し、観光列車「花嫁のれん号」を運転するなど、力を注いできた駅です。コロナ禍の時は、閑散とした時期もありましたが、感染が減少した12月頃から観光客も増え、駅の業務も忙しくなっています。無人化すれば特急や観光列車は無改札となり、利用者からも苦情が多く出ることが予想されます。会社は、日頃CS（お客様満足度）向上を謳っていますが、今回の施策は真逆と言わざるをえません。

昨年12月21日、金沢支社は「2022年3月ダイヤ改正等について」提案を行いました。主な実施施策は、①発売データを活用した指定席の車内改札方法の見直し及び車内放送の一部省略、社内業務を見直すことで、列車乗務員等の基本乗組数の見直しを行い、北陸新幹線12両編成を1名、特急（サンダーバード・しらさぎ）9両編成まで1名体制とする。②和倉温泉駅に遠隔MVを導入し、無人駅とする。③契約社員の段階的縮小・廃止に伴う要員削減及び客室乗務員の大幅削減。④経費節減に伴い、委託業務の一部直営化。⑤氷見線におけるワンマン運転の拡大。⑥乗務員区所における効率化・合理化。⑦小浜指令の集約となっています。

石川県支部は、12月21日、支部全員集会を開催し、提案の内容について討議しました。要求締め切りは、1月12日（水）で、佐藤業務部長まで報告をお願いします。



石川県支部・第1地区・第2地区合同旗開き
 日時 1月15日 13時
 場所 石川県平和と労働会館 1階
 会費 1,000円
 多数の参加よろしくをお願いします。